

台風に備えよう



日本には毎年多数の台風が接近または上陸し、大きな被害をもたらします。台風が接近して災害発生のおそれが高まった場合には、台風情報とあわせて大雨、洪水、暴風などの気象情報が発表されます。事前に発表される情報に十分注意し、被害を最小限に抑えられるよう備えましょう。

●台風の「強さ」の階級分け

階級	最大風速
強い	33m/秒以上～44m/秒未満
非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
猛烈な	54m/秒以上

●台風の「大きさ」の階級分け

階級	風速 15m/秒以上の半径
(表現しない)	500km未満
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) <small>おおよその時速</small>	風の強さ (予報用語)	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物
10～15 ～約50km/h	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。
15～20 ～約70km/h	強い風	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。
20～25 ～約90km/h	非常に強い風	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。
25～30 ～約110km/h					
30～35 ～約125km/h	猛烈な風	屋外での行動は極めて危険。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。 	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。
35～40 ～約140km/h					
40～ 約140km/h～					

※気象庁提供資料を一部加工

●台風接近時の確認

- チェック** 戸締まり 窓や雨戸は風雨が強くなる前に鍵を閉め、必要なら補強を行う。
- チェック** 排水 排水溝や雨樋などを掃除し、水はけをよくしておく。
- チェック** 外回り アンテナや物干し竿などは補強し、犬小屋や植木鉢は室内へ。
- チェック** 室内では 非常持出品を確認。断水に備えて飲料水を準備し、浴槽に水をはる。浸水のおそれが出てきたら、家財道具や寝具などを高い所へ移動。外出は絶対に控える。

